『お嬢様の教育的？杭打ちピストン超搾精』

ASMR 脚本

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5 ◆登場人物
- 6

7 ・智麗（ちえり）

8 ・あなたが仕えるお屋敷のお嬢様

9 ・幼い頃から優雅な振る舞いするよう教育を受けてきたため、完璧な立ち居振る舞いを
10 しようと心がけている。

11 ・だが、生来の気質から抜けた所があり、そのせいでミスをしたりするが、

12 プライドが高いのでミスは絶対に認めない。そのため、使用人であるあなたから、

13 度々ツツコミを受けたりしている。

14 ・当初はそんな生意気な使用人を教育しようとしていたが、ひよんなことから身体を重ねてしまい、

15 その魅力に取りつかれてしまう。

16 ・とは言え、そんなことをあなたに直接言えるわけもなく…

17 今日も教育という名目で、あなたを呼び出し、性欲を発散するのが日課になっている。

18

19

20 ・あなた

21 ・智麗お嬢様に仕える使用人。智麗より年上。

22 ・お屋敷づとめを割のいいバイトくらいに考えており、仕事は適当にこなそうと考えている。

23 ・そんな態度から智麗に目をつけられるが…ひよんなことから肉体関係を結んでしまい、

24 気に入られる。

25 ・智麗の理不尽な立ち振舞いにツツコミをいれつつ、今日も教育という名目で、智麗に呼び出され、

26 彼女の性欲発散に付き合っている。

27

28		
29		
30		「お嬢様の教育的？杭打ちピストン超搾精」
31		「お嬢様、杭打ちピストン超搾精」
32		場所：智麗の部屋・夜
33		
34		・智麗の部屋に入室したあなた
35		
36		・威厳を出しつつ
37	⑤中	「来たわね。5分遅刻よ」
38		「まったく：時間ちょうどに来なさいと言ったのに、
39		遅れてくるなんて使用人の心構えがなっていないんじゃない？」
40		
41		・主人公、言い訳
42		・間
43		
44		・不機嫌そうに
45		「言い訳は聞きません。いつも言っているでしょう？ 私の言葉は逐一覚えておくこと！」
46		「主人の命令は絶対なんですから！」
47		
48		・智麗、あなたの方へ近づいてきて
49		SE ⑤中→⑤近：歩く音（智麗）
50		
51	⑤近	「まあいいわ：あなたがそういう人間だというのは理解しています。ですので…」
52		「反抗的な使用人には、今日も教育よ」
53		「今日こそ、私を敬う気持ちを刻みつけるんだから」
54		「私からの教育を受けられること：光栄に思いなさい」
55		
56		・智麗、威厳を出しつつ
57		「顔をこちらに…」
58		
59		・間
60		
61		「…ほら、すぐに！」
62		
63		SE ⑤近→⑥近：衣擦れの音
64		
65	⑤近→⑥接	「まったく：いつもぼーっとしてるんだから…」
66		「…まあ、そういうところ、嫌いではないけど」
67		「私に仕えているという自覚を、もっと持ってほしいのですわ」
68		
69		

・智麗、あなたにキス

「はあむ…ちゅっ…」

「んふっ♡ ちゅっ…ちゅっ♡ んちゅっ♡ ちゅうう…♡」

・感情が漏れて

「はあ…んちゅっ…ちゅっ…んふ、ちゅうっ…好き…♡」

・好きと言ったことに気づき

・間

・慌てながら

「か、勘違いしないで頂戴！ 今のは別に、あなた個人への想いを告げたわけではないのですからね」

「あなたは余計な言葉には反応しなくていいの！」

・あなた、お嬢様の言葉は覚えておけて言ってたじゃん的な反応

・指摘を受け、しどろもどろになり

「た、たしかに…私の言葉は逐一覚えておくようには言いましたけど…」

・逆ギレ

「もう、口答えしない！」

「主人に逆らう口は…こうです！」

・キスを再開

「んふっ、ちゅっ…ちゅっ…♡ はあ…んむっ、ちゅっ♡ ちゅっ…んんっ♡」

・あなた、智麗の口に舌を入れて、デープキス開始

「んちゅっ、んっ！ れろれろ…んふっ、んちゅう、れろれちゅ…

ちゅっ、あっ…んちゅ…ちゅっ…じゅちゅりゅ…」

・デープキスを終えて

「ふはあ…はあ…はあ…」

・デープキスにうろたえながら

「きゅ、急に舌を入れてくるなんて…」

・でも、気持ちよかったから良いかと考え直し

「い、いえ…今のは、まあ、褒めてあげましょう。悪くなかった…ですし」

・もう一度キスしてほしいアピール

「もう一度…しても…その…」

112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153

・あなたがしようとしないので、結局指示
「ほら、言われなくてもわかっているでしょ！　しなさい！」

・デーパーキス

「ん…♡」

「んふっ♡　ちゅっ、ちゅっ…んちゅ、れろれろ…んちゅ、ちゅっ♡」

「はむ♡　んちゅ、れろれろ…れろちゅっ…ちゅぷあ…はあ♡　はあ…む、ちゅっ♡」

・キスを終えて

「ふう…やはり、あなたのキスは…悪くはないわね」

・あなた、智麗から身体を離し今日はもういいですか？　的な反応

SE ⑥接↓⑥近…衣擦れの音

「いえ、まだ教育は終わりじゃなくてよ？」

「全く…わかっているでしょように…」

「ほら、さっさと準備なさい！」

・あなたと智麗、ベッドの方へ移動

SE ⑥近・下側…足音（2人分）

・あなた、ベッドに横になる

SE ⑫接・下側…ベッドが軋む音

SE ⑫接・下側…衣擦れの音

・呆れた様子で

「はあ…あなた、服はちゃんと脱ぎなさいな」

「こうやっていつも私に脱がさせようとするのですから…!」

・智麗、あなたのズボンを脱がしはじめる

SE ⑥近・下側…ベルトを外す音

「まったく、これではどちらが使用人かわからないではないですか…」

SE ⑥近・下側…チャックを降ろす音

SE ⑥近・下側…ズボンを脱がす音

SE ⑥近・下側↓⑤近…衣擦れ音

・智麗、下着を脱ぐ

SE ⑤近・下側…衣擦れの音

⑤近

「ふっ…」

・智麗、ベッドの上になり

SE ⑤近↓⑥近・下側：衣擦れの音

SE ⑤近↓⑥近・下側：ベッドが軋む音

・智麗、騎乗位の体勢で性器をあてがい

SE ⑥近・下側：水音

⑥近

「んっ…ふう…♡」

・威厳を出しつつ

「ふふっ…主人を舐め腐ったその性根、今晚こそ叩き直して見せますわ」

・智麗、腰を降ろして、挿入

SE ⑥近・下側：挿入音

・感じながら、嬉しそうに

「…あっふうっ♡ 使用人おちんぼ…きたあ…♡」

・息を整え

「ふう…ふう…では、覚悟しなさい」

・智麗、腰を動かし始める

SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：50) ※以下継続

SE ⑥近・下側：ベッドが軋む音

・感じながら

「んっ、んっ、ふっ…んんっ♡ んっ♡ んんっ♡ ふっ♡ んんっ♡ んんうっ！」

「はあ…やっぱりこれ…最高♡ んふっ♡ んっ♡ はっ♡ んんっ♡ はっ♡ んふうっ♡」

・腰を動かしながら

「はあっ♡ はっ、んっ、どうかしら？ あまりの気持ちよさに…んっ！

私を敬う気持ちがあっ…んっ、わいてきたでしょう？ んっ♡ ふううっ♡」

「あなたが…心の底から、んっ♡ 私を敬うまでえ♡ 続け、ますからねっ♡」

・智麗、腰を動かす速度を上げて

SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：65) ※以下継続

・テンポを上げて

「ほらっ♡ ほらっ♡ ほらっ♡ ほらっ♡ んっ、ほおらっ♡」

194
193
192
191
190
189
188
187
186
185
184
183
182
181
180
179
178
177
176
175
174
173
172
171
170
169
168
167
166
165
164
163
162
161
160
159
158
157
156
155
154

196 ・あなたを感じさせようとした結果、自分の方が先に気持ちよくなり、絶頂
197 「んっ…♡ んっ…ふっ、ふううううっ♡」

199 SE ⑥近・下側：衣擦れの音

200 SE ⑥近・下側：ベッドが軋む音

202 ・智麗、腰の動きを止めて

203 SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：65) ※終了

205 ・感じつつ、息を整える

206 「んんっ！ ふっ…はあ、はあ…」

208 ・イッたことを悟られないように、すました様子で

209 「な、何かしら？」

211 ・あなたから、イきました？ 的なことを聞かれ

213 ・ごまかそうと怒り気味に

214 「失礼ね！ ベ：別にイッたりなどしていません！」

215 「使用人より先にイクなんてこと、あるわけないでしょう」

217 SE ⑥近・下側：ベッドが軋む音

219 「そんなことよりも、教育の続きです！」

221 ・智麗、再び腰を動かし始める

222 SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：55) ※以下継続

224 ・イッた後なので、さっきよりも感じながら

225 「んっ♡ んんっ！ はっ…んふっ…はあ、はあ…♡ あっ…ふっ♡ んっ、んっ…」

226 「ああっ♡ あっ、はあ…はあ…んう♡ んっ…♡ んっ…んんっ♡」

227 「んっふ♡ んんっふっ♡ はっ♡ はっ♡ あっ…くうう♡ んっ…んっ、んふう♡」

229 ・あなたが感じている様子を察知して、腰を動かしながら

230 「んっふっ…！ はあっ、あんっ、あっ、あっ…はあ、どうかしら？」

231 「そろそろ…んっ！ んっ♡ あっ♡ いきそうなのでは？ くっ…はあ、はあ♡」

233 ・あなた、感じている的な回答

234 ・得意げに

236 「…そうでしょう、そうでしょう！ 私の攻めの前にはああっ♡

237 いくら生意気なあなただって♡ 耐えられないでしょうっ♡」

「でも、これで終わりじゃないですからね♡ こうしてえ…」

・智麗、さらに腰のスピードをアップ

SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：80) ※以下継続

・感じているあなたを見て、得意げに

「ふふっ♡ んっ♡ あっ！ はっ、ふっ…んっ♡ んっ…んっ！」

「はっ♡ はっ♡ あんっ♡ んっ！ んうっ！ ふっ♡ ふっ♡ んっ！ ああっ！」

・智麗、身体を倒し、あなたに顔を近づけ

SE ⑥近・下側：衣擦れの音

・感じながら

「ふっ、ふっ…くふうっ♡ んんっ！ はっ、はっ…ああ♡ はっ…くうっ♡ んんっ！」

「まだまだあ…♡」

⑥接

・智麗、さらに腰のスピードをアップ

SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：95) ※以下継続

・あなたをイカせようとして

「ほら…さっさとイキなさいっ！ ほらっ♡ ほらっ♡ ほらっ♡」

「一滴残らず：搾り取ってやりますわっ♡ んっ、ふっ、ふあっ、んんっ♡」

・自分も感じてしまい

「あっ！ あっ！ あっ♡ あんっ♡ んんっ♡ んんっ♡ ふっ…んっ…ああっ♡」

「んんっ！ 膨らんでき…たあっ…！ はうっあっ…あっ…また、イツちゃっ…んんっ！

はっ、はっ…んんっ！」

・限界を迎えて

「あっ、あっ…んあっ…あっ、あっ、あ♡ あああっ♡」

「んっ…駄目っ、これじゃ先にな…んんっ！ あ、あああっ…あっ！ あっ！ んんっ！」

「イツくうう…っ♡」

SE ⑥近・下側：身体がぶつかり合う音&水音 (BPM：95) ※終

SE ⑥近・下側：ベッドが軋む音

SE ⑥近・下側：衣擦れの音

SE ⑥近・下側：射精音

・智麗、絶頂しながら

「んっ、んんんんっ…っ！」

238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279

280 感じるながら
281 「んっ…くぅ♡ はぁ…はぁ…あっ♡ 熱いの…でてえ…んっ！ ふっ♡ んふうう♡」
282 「はぁはぁ…はぁ…ふう…」

SE ⑥接↓④接…衣擦れの音

286 ・満足気に
287 「まったく、こんなに出して、量だけは一人前なんだから♡」
288 「それで、私を敬う気持ちはわいてきたかしら？」

289 ・あなた、何かしら返答
290 ・間

293 「…はぁ、そんな態度じゃ、何を言っても信用はできませんわ」
294 「それに…あなた、私より先にイッたでしょう？」
295 「主人より先にイク使用人が許されるとも思っているのかしら？」

296
297 ・あなた、さっきと言っていることが違うと指摘
298 ・間

SE ④接↓⑥接…衣擦れの音

302 ・自覚はしつつも、必死にとぼける
303 「…何を言っているの？ 私、そんなことを言った覚えなんてないです」

304
305 ・あなた、絶対言った！ 的な反応

306
307 ・智麗、ムキになって
308 「言ってません〜！」

309
310 「とにかく、まだまだあなたにはしつけが必要なようですね」
311 「明日もまた、教育してあげるから…同じ時刻に来なさい」
312 「遅刻したら…許さないんだから♡」

313
314
315
316
317
318
319
320
321

・お嬢様の教育的？杭打ちピストン超搾精 END (2005)